

# みんなが気持ち良く歩ける箱根

仙石原小学校 五年 清水こまち

「あつ。何でこんなものが落ちてるの。」

私は道路わきで大きなバネを拾ってゴミぶくろに入れてきました。私たちが住む箱根町は、自然が豊かで人も大勢訪れる観光地です。私の大好きな箱根町を観光客の方にもきれいだなと思ってもらいたいので、家族でゴミ拾いをしようと思いました。

ゴールデンウィーク中の五月三日、家の周りや通学路のゴミ拾いをしました。

まず初めに、諏訪神社に行きました。境内はゴミが全く落ちていなくておどろきました。お母さんに聞くと、毎週地域の方々が、きれいに掃除をしてきているからだよと、教えてくれました。

次は通学路です。道路には小さなゴミ、マスク、大きなバネ、そして何本もたばこのすいがらが落ちていました。

道路は人目につくからか、大きなゴミは捨てられておらず、小さなゴミがたくさん捨てられていることに気づきました。また、草むらには、牛乳パック、缶、ペットボトルなど、

たくさんゴミが落ちていました。きっと草でゴミがかくれるので、大きなゴミを捨ててしまう人が多いのかなと思いました。

最後に学校の周りを歩きました。ゴミは落ちていなくて、きれいにそうじされていました。これは、小学校に遊びに来る人がゴミをポイ捨てせずに、日ごろから気をつけているから、きれいなのだと思います。

ゴミを確認してみると、たばこのすいがらが一番多くて、次に多かったのは、飲み物のゴミでした。きっと、歩きながらたばこを吸ったり、飲み物を飲んだりする人が多いからだと思います。どうして、ポイ捨てをしてしまう人がいるのかなと、家族で話し合いました。私は、家までゴミを持って帰ることを面倒だと思っていた人が多いからじゃないかと話しました。

だれもゴミ拾いをしていないので、最初ははずかしいという気持ちがありました。だけど、ゴミを見つけたのは、町をきれいにする宝探しゲームのようで、楽しくなりました。

た。町がきれいになることがうれしくて、終わった後はとても気持ち良かったです。町がいつもきれいでゴミがないと、ゴミを捨てたいと思った人が一度ためらうと思います。私はまた家族でゴミ拾いをして、ポイ捨てする人をへらしていきたいと思いました。

町を歩くみんなが気持ちよく歩ける箱根町であるように、私はこれからもがんばります。